

小学校低学年の部

激励賞

「み一つけた、おきなわのいいところ」

那覇市立与儀小学校 1年生 津嘉山 理子

わたしは、4月いところがすんでいる、大きかにあそびにいきました。大きかで、でんしゃやしんかんせんのにのったり、サーカスをみたり、まるでゆめのようにした。大きかからかえるとき、いところが

「こんど、おきなわにあそびに行くね。」

と、いいました。そのときわたしは、

「どうしよう、おきなわにたのしいところ、あるかな。」

と、ふあんになりました。

まいにちそのことをかんがえているとき、おとうさんがうみにつれていってくれました。くるまからおりとびっくりしました。とおいところまで、うみのなかをひとがいっぱいあるいていたからです。わたしもかぞくでうみのなかをさんぽしました。あるいてもあるいても、うみがふかくならないんです。まるでまほうのようでした。さんぽのとちゅう、もずくをとったり、えびやかにを見つけました。いしをうごかすと、いっぱいできて、むちゅうになっておいかけました。はじめてうみで、なまこやハリセンボンもみました。びっくりすることがいっぱい、ずっとむねがドキドキしていました。じぶんたちでとったもずくは、おみやげにして、きんじょのひとたちにくばりました。みんなが、

「じょうとうさ。」

と、いってよろこんでくれたのでわたしまでうれしくなりました。よるは、おうちでもずくパーティーをしました。もずくとりで、であったおじいちゃんおばあちゃんから、

「もずくを食べるとびじんであたまもよくなるよ。」

と、おしえてもらいました。わたしは、テストで100てんとりたいのでまいにちいっぱい食べています。

「みつけたおきなわのいいところ。」

それは、ドキドキが、いっぱいまったちゅらうみです。おきなわのうみは、これからもずっと、しまんちゅぬたからです。